

第8期 第8回 与謝野町産業振興会議 会議報告書

日 時 令和8年5月22日（金）午後7時00分～午後8時35分

場 所 岩滝保健センター2階 会議室1・2

出 席（敬称略）

小林 厚美	西原 新介	寺立 浩人	糸井 宏輔
西村 彬弘	安達 幸三	谷口 祐一	小山 大介
山添 宏明	福井 義之代理 和泉 亮	江種 里栄子	

欠 席（敬称略）

岩西 拓男	足立 克徳	太田 桂史	青木 一博
大槻 晃一	小田垣 凜	宮崎 真実	

事務局

産業観光課 小室課長	同 田村補佐	同 井戸本補佐	同 井上課長補佐
同 妹尾係長	同 西原主査	農林環境課 糸井係長	

傍聴者 4人

会議概要

1. 開会（小林会長）

これまでのディスカッションを踏まえ、実のある意見交換を期待する旨の挨拶がなされた。

2. 議事

（1）阿蘇ベイエリアの活性化について（グループディスカッション）

事務局（妹尾係長）より、提言書作成に向け実施した現地確認の報告と、提言書（仮称）の構成案に基づき、グループディスカッションおよび全体共有が行われた。

現地確認報告（5月11日実施）

- ・阿蘇シーサイドパーク周辺：橋立中学校から阿蘇海へ向かう道や園内の大石周辺からの天橋立（松並木・湾曲した海）の景観が特に美しい。ベンチの配置やポイントカラーの活用（アクセント）、駐車場側からの景観を阻害する大石の配置見直しの検討。
- ・大内峠一字観公園：展望デッキや管理棟周辺からの景観が美しいが、より綺麗に見せるための仕掛け（高台・階段など）の重要性を確認。分かりやすい案内サインの必要性。
- ・板列八幡神社：厳かな雰囲気や町並みは魅力的だが、樹木の成長により眺望が遮られているた

め、整備やポイントづくりの必要性を確認。

- ・その他： 5月30日発行予定の「すごい公園本」への掲載紹介、および時間帯や天候（朝凧の水鏡など）による現地特徴の把握の重要性を共有。

① 第3次与謝野町総合計画への反映について

- ・事務局原案：阿蘇ベイエリアの活性化と観光消費の拡大（阿蘇ベイエリアの活性化を図るため、周遊の拠点となり得る阿蘇シーサイドパークに新たな施設を整備し、観光客など来訪者の滞在時間を延ばすとともに消費の拡大を図ります。）
- ・主な意見： 総合計画は「町民が見て分かること」が重要であり、一地域（阿蘇ベイエリア）に限定しすぎると他地域とのバランスを欠く恐れがある。隣接市町（宮津市・伊根町等）の観光客の流れを捉えた「周遊拠点」としての位置づけや、より柔軟性をもたせた表現（上位計画にふさわしい文言）にするべきとの指摘。
- ・今後の対応： ディスカッションでの意見（広がりを持たせた表現への修正）を反映した修正案を後日メールにて全委員へ提示し、合意形成を図った上で企画財政課へ提出する。

② 「阿蘇ベイエリア活性化に関する提言書（仮称）」（案）の確認について

簡潔で分かりやすい基本構成（目次案）に沿って意見交換を実施。

- ・はじめに（背景・目的）： 10年前のマスタープラン（航路復活を最重要課題としたもの）から社会情勢や観光ニーズが変化している。手段としての航路復活に囚われず、時代の変化に合わせた新たな目的（滞在・周遊・新ランドマーク等）に見直す。
- ・課題と強み： 近隣エリアに比べ観光客が極めて少ないこと、お金を使ってもらう状況（消費の仕組み）が整っていないことが課題。強みである「横一文字」の眺望や、広大な天然芝、地域の歴史・人々の営み（神社や町並み）を複合的な魅力として発信する。
- ・将来像・具体的施策（ハード・ソフト・情報発信）： シーサイドパーク（グラウンドゴルフ場等）へのカフェ・朝市が開催できる建物（民間ノウハウの導入）の建築、各種ルールの整理、イベント利用の簡略化、利用状況の見える化など。
- ・推進体制とスケジュール： 3年～5年を視野に入れたロードマップの必要性、既存利用者（グラウンドゴルフ等）や周辺住民への丁寧な合意形成（行政の役割）について意見を交わした。次回会議にてキーワードをさらに深掘りし、提言書を完成させる。

（2）その他

事務局から3つの事業を紹介

1 与謝野町特産品募集

令和8年度から毎年度専門家による審査を行い、魅力的な商品を認定していく。認定した特産品のふるさと納税返礼品への登録推進により納税額の拡大を図る。産品募集に向け、事業者への声掛け・紹介を依頼。

2 丹後オープンファクトリーNeo TAN への参加募集

京丹後市・与謝野町・宮津市の3市町による合同イベント。5月27日（水）の事業者募集の締め切りに向け、事業者への参加検討・周知を依頼。

3 宮津市との連携（みなとオアシス宮津天橋立運営協議会〈仮称〉への参画）

宮津市から阿蘇海内湾の今後の活性化（海の活用や道路整備等）に関する共同参画への呼びかけがあり、佐賀町長の指示のもと、行政の壁を越えて与謝野町も参画することを報告。6月頭の立ち上げ会議より参画し、情報収集と関係性構築を進める。

① 第9回産業振興会議

日時：令和8年6月12日（金）午後7時00分から

場所：岩滝保健センター2階 会議室1・2

議事：提言書の取りまとめ（推進体制・スケジュールの深掘り、総合計画文言の確認等）

3. 閉会（西原副会長）

提言書作成に向けた議論がいよいよ佳境に入っている。これまでの貴重な意見を無にしないよう、行政へ確実に反映できる提言書を次回でまとめ上げていく旨の挨拶がなされ、閉会した。